

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。このために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

**商品名：メイアクト MS錠 100mg**

主成分：Cefditoren pivoxil（セフジトレン ピボキシル）

剤形：白色の錠剤（直径 8.1mm、厚さ 4.5mm）

シート記載：メイアクト MS錠 100mg、M-27、MEIACT MS100mg

**この薬の作用と効果について**

- ・病気の原因となる細菌を殺す働きがあります。
- ・感染症の治療に用いるセフェム系の抗生物質です。
- ・通常、表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、胆嚢炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、眼瞼膿瘍、涙嚢炎、麦粒腫、瞼板腺炎、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎の治療に用いられます。

**次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。**

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。
- ・気管支喘息、発疹、じん麻疹などのアレルギー症状を起こしやすい人、または、両親兄弟にそのような人がいる場合、腎臓の病気のある人
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬を使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、大衆薬も含めて他に使用中の医薬品に注意してください）

**用法・用量（この薬の使い方）**

- ・あなたの用法・用量は◀ : 医療担当者記入▶
- ・通常、成人は、1回1錠（主成分として100mg（力価））を1日3回食後に服用しますが、年齢・症状により適宜増減されます。重症または効果不十分と思われる場合は、1回2錠（主成分として200mg（力価））を1日3回食後に服用します。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・飲み忘れた場合は、気がついた時、できるだけ早く1回分を飲んでください。ただし、次の通常飲む時間まで4時間以下の場合は1回飛ばして、次の通常の服用時間に1回分を飲んでください。絶対に2回分を1度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

**生活上の注意**

**この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）**

主な副作用として、下痢、軟便、嘔気、胃不快感、発疹、じん麻疹、紅斑、そう痒、発熱、リンパ節腫脹、関節痛などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[ ] 内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・顔面蒼白、冷汗、呼吸困難[ショック、アナフィラキシー様症状]
- ・発熱、下痢、腹痛[偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎]
- ・発熱、中央に浮腫を伴った紅斑、眼球結膜の充血[皮膚粘膜眼症候群、中毒性表皮壊死症]
- ・発熱、から咳、息切れ[間質性肺炎、PIE 症候群]
- ・全身倦怠感、食欲不振、皮膚や結膜などの黄染[肝機能障害]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも何か変だなと感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

**保管方法その他**

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。

**医療担当者記入欄**

年 月 日

◀

▶

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。